

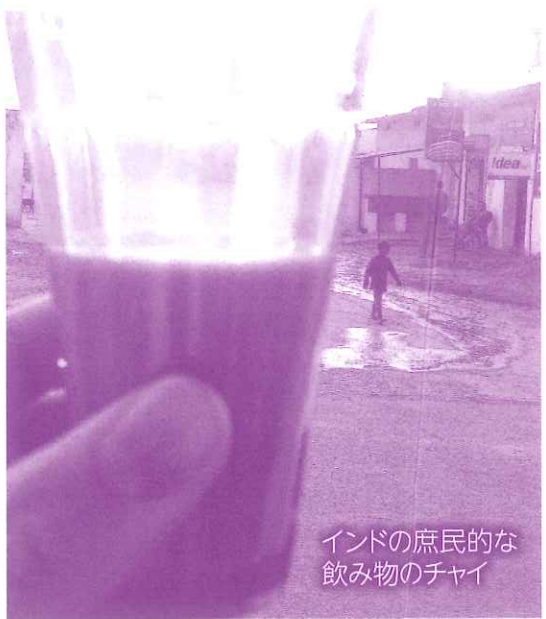


チャイタイム

インドでは1日の中にとっても大切な時間があります。それはチャイタイムです。日本語でお茶の時間という意味です。日本寺ではチャイタイムが毎日午前10時と午後3時に20分ほどずつありました。この時間は現地スタッフも仕事をしません。このチャイタイム中は新聞の記事を読んで政治について話し合っている人もいれば、昨日の出来事を話している人や、ヒンドゥー教のお祭りやお祈りの話をしている人もいます。チャイタイムはインドの人々にとって、1日の中でとても大切なコミュニケーションの時間なのです。

チャイはお茶と言っても

緑茶とは違い、インドの紅茶を牛乳と水で煮て、大量のお砂糖とマサラなどのス



インドの庶民的な飲み物のチャイ



街の出店でのチャイタイム

パイスを入れた飲み物です。これはインドのどの地域でも好んで飲まれていきます。また地域によつて味が変わります。寒い時期には朝一番にチャイを飲んで身体を温め、暑い時期にはチャイで糖分を補給して体力をつけます。風邪を引いたときには、チャイにショウガを入れて飲んで身体を温めたりもします。

私が日本寺に着任した当初、寺内の現地マネージャーがスタッフに仕事を頼もうとしたとき、「チャイタイムですか。じゃあとにします」と言っていたのを覚えています。そのとき私は日本人の感覚で考えて、この会話を

とても不思議に思いました。が、今の私ならこの時間の大切さがすぐく納得できます。私自身、スタッフと一緒にチャイを飲みながら、インドの文化のことや宗教、昔のブツダガヤの様子など多くを学ばせていただきました。



日本寺のチャイタイム

日々忙しく生活している私たちだからこそ、1日の中で家族、友人、仲間と10分でもいいからゆっくりお茶を飲みながらささいなことでも話をする時間を作ることは大切なことだと思います。皆さまがお寺にお越しになられるときは、どんなお話でも構いませんからお茶を飲みながらゆっくり語り合いましょ。心のゆとりは日常の小さな心掛けから始まると私は思っています。

(続く)